

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月23日

計画の名称	快適な生活環境と美しい水環境を創造するやまぐちの下水道整備の推進											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	山口県,周防大島町,田布施町,平生町											
計画の目標	周防大島町および田布施川流域(田布施町、平生町)において、下水道整備を促進し、快適な暮らしの創出や良好な水環境の保全を図る。 上位計画(山口県汚水処理施設整備構想、流域下水道事業計画)を策定し、社会情勢の変化等に適応した下水道事業の執行を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8,791	A	8,791	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	下水道処理人口普及率(周防大島町)を18.4%(H30当初)から29.6%(R4末)に増加させる。 下水道処理人口普及率(周防大島町)(%) 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	184%	%	296%
2	下水道処理人口普及率(田布施町、平生町)を53.5%(H30当初)から54.3%(R4末)に増加させる。 下水道処理人口普及率(田布施町、平生町)(%) 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	535%	%	543%
3	計画期間内に上位計画策定率(山口県)を0.0%(H30当初)から100.0%(R4末)に増加させる。 上位計画策定率(山口県)(%) 策定件数(数)/全策定数(数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	山口県	直接	山口県	終末処理場	新設	終末処理場整備事業（久賀大島浄化センター）	処理場建設、調査・設計	周防大島町						1,072	-	-	
	A07-002	下水道	一般	山口県	直接	山口県	管渠（汚水）	新設	汚水管渠整備事業（久賀・大島処理区）	幹線 8.4km、調査・設計	周防大島町						3,041	-	-	
	A07-003	下水道	一般	周防大島町	直接	周防大島町	管渠（汚水）	新設	汚水管渠整備事業（久賀・大島処理区）	枝線 60.0ha、調査・設計、事業計画見直し	周防大島町						2,685	-	-	
	A07-004	下水道	一般	周防大島町	直接	周防大島町	管渠（汚水）	新設	汚水管渠整備事業（東和片添処理区）	幹線 1.6km、枝線 27.0ha、調査・設計、事業計画見直し	周防大島町						1,240	-	-	
	A07-005	下水道	一般	田布施町	直接	田布施町	管渠（汚水）	新設	汚水管渠整備事業（田布施川処理区）	枝線 16.0ha、調査・設計、事業計画見直し	田布施町						300	-	-	
	A07-006	下水道	一般	平生町	直接	平生町	管渠（汚水）	新設	汚水管渠整備事業（田布施川処理区）	幹線 0.4km、枝線 15.0ha、調査・設計、事業計画見直し	平生町						395	-	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	山口県	直接	山口県	-	-	下水道計画策定事業(山口県)	山口県汚水処理施設整備構想、流域下水道事業計画見直し	山口県						58	-	-
											小計						8,791		
											合計						8,791		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R2	R3	
配分額 (a)	764.760	1,066.450	914.800	710.991	
計画別流用増△減額 (b)	42.500	15.750	5.200	△ 1.564	
交付額 (c=a+b)	807.260	1,082.200	920.000	709.427	
前年度からの繰越額 (d)	306.294	397.779	409.001	324.874	
支払済額 (e)	715.775	1,070.978	1,004.127	825.540	
翌年度繰越額 (f)	397.779	409.001	324.874	208.760	
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.305	0	39.572	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0	0.000	
未契約繰越＋不用率 (i = (g+h)/(c+d)%)	0.000%	0.021%	0.0%	3.8%	
未契約繰越率＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 快適な生活環境と美しい水環境を創造するやまぐちの下水道整備の推進

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 効果促進事業は目標達成に資する内容である。	○
III. 計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適切である。	○